

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	液状化対策小委員会		主 査 名：時松 孝次 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)		委員長名：緑川 光正 主 査 名：時松 孝次
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会では、建築基礎構造設計指針の改定に合わせ、これまで行われてこなかった液状化地盤における直接基礎の沈下・傾斜のメカニズムを解明し、設計法の確立を目指す。</p> <p>2014 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北地方太平洋沖地震を総括すると共に、液状化対策の効果の検証を行う。 ・新潟地震 50 周年を記念した大会 P D を企画・実施する。 ・改定予定の基礎構造設計指針の液状化関連部分（3 章）の構成を検討し、執筆内容をまとめる。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：時松孝次（東京工業大学）、幹事：田村修次（東京工業大学） 委員：安達俊夫（日本大学）、阿部秋男（東京ソイルリサーチ）、新井洋（国土技術政策総合研究所）、内田明彦（竹中工務店）、社本康広（清水建設）、鈴木康嗣（鹿島建設）、関口徹（千葉大学）、松下克也（ミサワホーム）、鈴木比呂子（千葉工業大学）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2014 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. PD：新潟地震から 50 年 ー液状化地盤における基礎構造耐震設計の進展と課題ー 『構造部門パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 317 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 『東日本大震災合同調査報告 建築編 5 建築基礎構造／津波の特性と被害』 液状化関連被害を分担執筆（達成度 100%） 2. 東北地方太平洋沖地震による液状化被害・液状化対策の効果に関する調査結 果を分析・検討し、東日本大震災合同調査報告にまとめた。（達成度 100%） 3. 液状化地盤における設計法・対策法の現状と今後の課題を検討し、建築学会 大会 P D 資料にまとめ、P D を開催した。（達成度 100%） 4. 改定予定の基礎構造設計指針の液状化関連部分（3 章）の構成を検討し、執 筆内容をまとめた。（達成度 100%）
委員会活動の問題点 ・課題	特になし